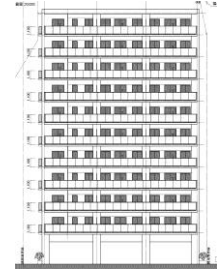


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ファインスクエア海老名新築工事	階数	地上11F
建設地	海老名市扇町14番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	130人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2017年3月28日
敷地面積	588㎡	作成者	株式会社 SG都市建築設計
建築面積	295㎡	確認日	2017年3月29日
延床面積	2,764㎡	確認者	株式会社 SG都市建築設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合	外観としてガラス手すりや格子手すりを採用することで、街並みに対して圧迫感のない計画とした。	-
Q1 室内環境	内装材はF☆☆☆☆を使用し、シックハウス対策に配慮した。各居室の窓は複層ガラスとし断熱効果を高めている。	Q3 室外環境(敷地内) 西側道路面側に可能な限り連続した植栽帯を設ける計画とした。
LR1 エネルギー	ほぼ全ての住戸が2方向以上の開口部を有し、自然換気を活用できる計画とした。	LR3 敷地外環境 広告物照明がなく、外に漏れる光に対して配慮した。
Q2 サービス性能	外装材をタイル仕上げとし、維持管理の容易性を高めた。	
LR2 資源・マテリアル	LGS工法又は木下地工法とし、躯体と仕上げが容易に分別可能な計画とした。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される